

11. 平成 25 年度広島県病害虫・雑草防除基準に採用した 普通作物用除草剤の除草効果および薬害

1. 背景とねらい

除草剤を適正に使用することは、作物生産の省力化・安定化を図るうえで重要です。そこで、新しい除草剤について、農林水産省の登録認可に必要なデータを提供するとともに、登録後の県内における雑草防除基準および現地指導に必要な資料を作成するため、効果や水稲に対する薬害を評価しました。

2. 成果の内容

平成 25 年度広島県病害虫・雑草防除基準に水稲用除草剤 12 剤を新規に採用しました。

主な除草剤の効果及び薬害は次のとおりです。

- 1) シリウスターボフロアブル[®]（オキサジクロメホン・ジメタメトリン・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾビシクロン水和剤）およびシリウスエグザ顆粒水和[®]（オキサジクロメホン・ピラクロニル・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾビシクロン水和剤）は、ノビエ、主要な広葉雑草、カヤツリグサ科雑草、SU 抵抗性雑草^(註)も除草可能で、水稲への薬害も無いことから、一発処理剤として実用性が認められました（表 1, 2）。
- 2) イネパーティ L フロアブル[®]（カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン水和剤）は、水稲への薬害も無く、イネ科雑草から広葉雑草まで幅広い除草効果が期待できます（表 3）。

^(註)SU 抵抗性雑草について：「SU(スルホニルウレア)系」成分は、水稲除草剤の一発処理剤の多くに含まれています。近年、これらを含む除草剤の連用に起因すると考えられる SU 系成分に抵抗性を示す特定のアゼナ類やホタルイ、コナギ、ウリカワが分布を拡大しています。

3. 利用上の留意点

- 1) 薬剤の使用にあたっては、農林水産消費安全技術センター・農薬登録情報検索システム (<http://www.famic.go.jp/>) により最新の農薬登録内容を必ず確認してください。

(栽培技術研究部)

4. 具体的データ

表1 シリウスターボフロアブルによる除草効果と薬害(平成21年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比 (%)									薬害程度
		ノビエ	コナギ	他一年生広葉	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	セリ	ヒルムシロ	合計	
シリウスターボフロアブル	田植後5日	0	0	t	0	0	1	0	0	t	無
	ノビエ2.0葉期	0	0	t	0	t	0	0	0	t	無
	ノビエ2.5葉期	t	0	t	0	2	t	t	t	t	無
対照)ザークD1キロ粒剤51	ノビエ2.0葉期	t	0	14	1	3	12	1	0	2	無

注1) 品種：広島21号（こいもみじ）。田植：4月15日。

注2) 表中の t は、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。

表2 シリウスエグザ顆粒水和による除草効果と薬害(平成22年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比 (%)									薬害程度
		ノビエ	コナギ	他一年生広葉	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	セリ	ヒルムシロ	合計	
シリウスエグザ顆粒水和	移植直後	0	0	0	0	0	0	0	3	t	無
	ノビエ2.0葉期	0	0	0	0	t	0	0	2	t	無
	ノビエ2.5葉期	0	0	0	0	t	0	19	5	1	無
対照)ザークD1キロ粒剤51	ノビエ2.0葉期	0	0	0	t	1	6	21	7	1	無

注1) 品種：ホウレイ。田植：5月25日。

注2) 表中の t は、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。

表3 イネパーティルフロアブルによる除草効果と薬害(平成22年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比 (%)									薬害程度
		ノビエ	コナギ	他一年生広葉	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	セリ	ヒルムシロ	合計	
イネパーティルフロアブル	移植直後	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無
	ノビエ2.0葉期	t	0	0	t	t	2	0	7	t	無
	ノビエ2.5葉期	0	0	0	4	t	2	0	1	3	無
対照)ザークD1キロ粒剤51	ノビエ2.0葉期	0	0	0	t	1	6	21	7	1	無

注1) 品種：ホウレイ。田植：5月25日。

注2) 表中の t は、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。